

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年2月15日

事業所名: 放課後等デイサービス 青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	活動内容により、空間を分けることができている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	法定配置基準以上の職員配置を心掛けている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	建設時にバリアフリー化が行われています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	毎日の子どもたちとの清掃時間を設け、また子どもたちによる環境づくりにも取り組んでいる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		充分とは言えず、改善すべき点は多いにある。時間づくりが目標である。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0		保護者からの意見に対しては、真摯に向き合うことが事業所としての役目であると考えています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	法人ホームページに評価表の結果を公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5		法人独自の第三者を交えた評価を行う予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	虐待・人権については特に重点的に実施	発達・障害・保育など、職員からのニーズも多く、次年度は積極的に研修を行っていききたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	相談支援専門員との連携を深め、情報の共有を持つ	青年期における気持ちの変化形成などには、深く注視する必要がある。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	活動や生活の、あらゆる経験のなかで、行動のパターンを探り、理解に努めています。	状況に応じて、法人所属の発達相談員との連携で、発達年齢や障害特性から理解を深め、実践に活かしています。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	相談支援専門員との連携。	より具体的な支援内容を設定し、楽しくつくる活動のなかで、獲得できるようにしていきます。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	5	0		職員全員が共通言語を持ち、個々の支援をねがいをもって、支援していきたい。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	個々の気づきを話し合い、それを基にして活動をつくっている。	より具体的に、目標を見える化すると、より効果的なチーム支援になると考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	季節感を大切に、屋内 屋外活動など、変化させている。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	平日は、ホッと一息。長期休暇は、何かにチャレンジ。設定を変えている。	
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	個の状況に合わせて、個別と集団のあり方を実践に取り入れています。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	特に必要とする支援者には、目標設定・方法などを打ち合わせしている。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		充分とは言えず、改善すべき点は多いにある。時間づくりが目標である。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	複写式の支援提供記録票を用いています。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	日々、個々の状況に合わせて、支援の在り方を調整しています。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	5	0	ガイドラインができる以前から、青空の実践目標です。	
	関	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	児発管や子をよく知る指導者を会議に参加させています。
24		(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
25		(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	学校からの直接情報提供はないので、保護者に情報の提供をお願いしています。	個別にトラブルなどがあった際、必要であれば担任教諭や主任教諭への連絡をするようにしています。
26		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
27		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				

係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	各児童発達支援センターへの聞き取りなど、情報共有に努めています。	
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	要請があれば、保護者の許可をいただいて情報の提供を行っています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	法人内各事業所が行う研修に、必要な内容であれば参加しています。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	今年度コロナ禍で、未実施ですが、毎年地域中学校吹奏楽部との交流の機会を持っています。	多くの放デイ事業所の課題です。共生社会にむけての相互理解を深めていくためには、必要と思いますが、実現はなかなか難しいところです。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	自立支援協議会サブ部会に定期参加しています。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	気づきがあったら、保護者に報告し、喜びを共有するようにしている。	ひとり一人に十分な時間を割くことができていない現状はあります。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3		保護者学習会や交流会で、保護者同士での悩みの共有など、話す機会を持ちたいが、コロナ禍で未実施。
保護者への説明責任	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	面談の機会を持ち、その中で説明の機会を持っています。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	5	0	日々の様子を伝え、ねらいなどを共有理解を得る努力をしています。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	将来への不安が寄せられ、卒業後の進路について情報提供を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2		今年度、コロナ禍状況で不参加者が多く、未実施に終わっています。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	保護者からの要望については、最優先で対応するようにしている。	

等	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	毎月行事予定やお便りを発行	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	最重要課題として捉えている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	できるだけ、わかりやすい文章にするように配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	地域の指導者や地域住民との交流を図っている	コロナ禍で、地域住民との交流の機会が少なくなった。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0		今年度、職員の入れ替わりが激しく、情報の共有が十分にできていないのが実状。要改善
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		今年度は定期的には未実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	保護者からの連絡情報提供	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	4	1	対象となる児童はいない。	医療との連携は必要と考えています。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3		事例集として、すべてをまとめられていない。要改善です。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	毎年、必ず虐待・人権学習を行っている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		どのような行為が身体的拘束にあたるのか、あたらぬのか、の具体的かつ組織的な決定ができていない、課題目標である。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2022年2月15日

事業所名:放課後等デイサービス 青空 保護者等数(児童数) 22名(24名) 回収数 15名 割合 68 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0		敷地の屋内 屋外全てが活動のスペースになっています。各々活動場所を確保して活動しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		職員の多くが、児童指導員要件を満たし、また教員免許状取得者です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	0		各々、活動に合わせて、自分の居場所スペースを決めている様です。建設時からバリアフリー化されています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	0	0		毎日、子どもたちと掃除の時間をもっています。また子どもたちが主体となって環境づくりをする取り組みも行っています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	0	0	0		利用児や保護者のニーズ、その主訴がどこにあるか、客観的にとらえるように努めています。そこに青空の活動目標やねがいをのせていけるよう努めています。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	0		文化芸術・スポーツなどの設定活動や、自由活動として各自没頭・集中できる活動を見出せるような時間をもち、その中から自己肯定感を育められるような支援を行っています。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	14	1	0	0		改めて利用者・保護者のニーズに寄り添えるような支援計画を作成していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	2		日々の活動の様子を伝える工夫が必要と感じています。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	1	0	2		全放デイ事業所の重要課題です。共生社会の実現に向け、相互理解の機会をもつ、という点では、これまで地域中学校吹奏楽部の演奏交流会を夏休みに実施してきましたが、この2年間、コロナ禍で実施できていません。
4	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	3	0	0		毎年の継続更新の中で、一部の保護者には説明不足の点がある、とのご指摘と受け止めます。要改善
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	2	0	1		個別支援計画書の説明が不足している、とのご意見と受け止めます。要改善
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	2	1	4		支援プログラミング等の学習の機会は持てていませんが、日々の報告などで、成長の姿を伝え、喜びを共有するなかで、見方や考え方を伝えるようにしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	3	0	0		保護者との短い限られた時間の中でも、もう少し伝えることができるはず。ひとり一人に向き合い、適切な対応ができていないというご意見と受け止め、反省いたします。

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	1	青空の保護者面談は、毎年2月に行っております。また必要に応じて、相談支援専門員との面談にも同席させていただいています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	0	2	保護者イベントや交流会などを企画するが参加者が少ないことは、ニーズに合っていないと受け止めています。内容について考えていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	0	2	この結果については、保護者対応に「迅速かつ適切な対応がなかった」事例があったのだろうと、真摯に受け止め反省したいと考えます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	1	情報の伝達場面に、丁寧さが欠けていた、と思われる事例があったのではと推測し、反省いたします。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1	0	2	ホームページでの公表が、周知されていない事の結果だと受け止めます。ホームページだけでなく、この結果表を保護者に配布いたします。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	1	個人情報については、職員としての最重要規範として、周知教育しています。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	0	2	マニュアルの周知に関しては、至らない点が多くあり、反省いたします。次年度にかけて改善していきたいと思えます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	0	5	訓練の実施については、定期的に行うように、また周知するように致します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	1	1	子どもたちが、笑顔でお家に帰っていない、ということがこの結果からわかります。真摯に受け止めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1	1	1	子どもの姿、青空の様子をもっと詳しく伝えるように努めていきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。